



広島経済大学 キャリアアップ・プログラム通信(第 299 号)

2022年 10月 13日 配信



◆広島経済大学 社会人対象講座キャリアアップ・プログラム◆

<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/careerup/index.html>

◆広島経済大学 公開講座(ひろしまカレッジ提供)◆**NEW!! 10月 24日(月)申込締切!**

https://www.hue.ac.jp/visitors/local/hiroshima_college/index.html

◇キャリアアップ・プログラム講師のルーコラム◇

「金融教育と ESG 投資」

広島経済大学 経営学部経営学科 教授

3 学期「原価計算の基礎」

棚橋慶太

2022 年度の金融行政方針では、改めて金融教育について国家戦略として推進すると提言されました。金融教育は中学・高校の授業に盛り込まれたものの、真の国民の資産形成を目指すという金融教育になっているのでしょうか。金融業界から大学教員に転じた筆者からすれば、自分が大学生だったときに、誰かが「S&P500 をとりあえず買っておけ」とでも言ってくれていたなら、その後の資産形成は変わっていたとすることがあります。ただ、どんなにノウハウ本を読んでも、水に入らなければ、永遠に泳げるようにはなれないわけで、まずは水に入る、すなわち何事も始めてみる事が大事ではないかと思えます。泳いだ経験がなければ、誰だって水に入るのは怖い。水に恐る恐る入って少しずつ泳げるようになる。「溺れてしまったらどうする」と言われそうですが、もがいているうちに段々と水に浮くことが分かり、泳げるようになります。金融教育も、少しずつ、実際に投資を始めてみる事ではないでしょうか。一方、株式投資と聞くと「損したらどうするんだ」と考えてしまうのも理解できます。やはり「泳ぐ楽しさ」を感じられないと、水泳も苦しいだけで長続きしません。金融教育も「楽しい」とか「やりがいがある」とか長続きする何かが必要ですね。

その意味では、金融教育と ESG 投資を一緒に捉えるのはどうでしょうか。企業経営において ESG の重要性が高まってきています。ESG は、「環境(Environment)・社会(Social)・企業統治(Governance)」の 3 文字の略語です。最近よく耳にする SDGs(持続可能な開発目標)がゴールであり、ESG はそのゴールに向けた手段です。SDGs の主体は企業ですから、SDGs 達成のため企業を目標達成へと駆り立てる力が必要であり、それは株主からの投資すなわち ESG 投資です。企業が営む事業が環境や社会に与える影響や、環境や社会の変化により企業が営む事業が影響を受ける時代に、ESG に取り組む企業は株主や債権者だけでなく地域社会や従業員にとっても価値を提供できる企業であるはずで。

財務会計は「財務諸表分析」、管理会計や原価計算は「意思決定/業績管理」に財務情報を利用しま

すが、ESG に関する情報は企業の非財務情報です。会計の授業で学んだ財務情報は過去の経営成績ですが、ESG に関する非財務情報は未来への足掛かりとなる情報を提供してくれます。ESG というテーマで長期的な目線で銘柄を選定し 10 年 20 年先の未来を見据えた投資で実績を上げることはプロの機関投資家でも容易ではありませんが、若い人たちが自分の未来を見据えて 10 年 20 年先でも応援していきたい企業を ESG の観点から選び出して投資することから始めてみる、企業もそのための材料を積極的に提供し少額でも投資できるようにする。金融教育の中で ESG 投資を学ぶことは十分意味あるものだと考えています。

>>次号は、3 学期「人材マネジメントの基礎」講師 宮辻 渉先生がご担当されます。

◆今週の一冊◆

棚橋先生おすすめの書籍です。



[『サステナブル経営とコーポレートガバナンスの進化』松田千恵子著、日経 BP 社](#)

本書は、サステナビリティやガバナンスに関する問題や課題をわかりやすく、時折面白おかしく説明しています。今年、東京証券取引所の市場区分が変更され、またコーポレートガバナンスコードが改訂され、上場企業にとって ESG が経営上重要な取り組みとして明確になりました。もはや ESG 経営やサステナビリティ経営は上場企業だけの問題ではありません。上場企業と取引する非上場企業や中堅中小企業も、サプライチェーンの中で ESG 経営が求められる時代を迎えます。その意味で、本書は、企業の経営者や第一線で働くビジネスパーソン、さらに就職を控えた学生諸君にもお勧めしたい一冊です。

◇キャリアアップ・プログラム 3 学期 ピックアップ講座紹介◇

※画像をクリックすると講座紹介動画をご覧ください。



[3 学期『よくわかる行動経済学入門』講座 PR 動画\(1 分 55 秒\)](#)

[経済学科 准教授 山根 智沙子先生](#)

◇キャリアアップ・プログラム 講義の様子◇

※本学オフィシャルサイトに掲載している講義の様子をご覧ください。

[・2022 年度 社会人対象講座キャリアアップ・プログラム 2 学期開講のお知らせ\(2022/8/25 掲載\)](#)

[・2022 年度キャリアアップ・プログラム 1 学期講座が終了しました。\(2022/7/4 掲載\)](#)

[・2022 年度キャリアアップ・プログラム 1 学期講座がスタートしました。\(2022/5/26 掲載\)](#)

◇(ひろしまカレッジ提供)公開講座のご案内◇NEW!

教育ネットワーク中国と大学が連携して、大学などが持つ優れた研究・教育機能を市民生活に活かすことを目的に、社会人の皆様に学習機会を提供しています。日常の暮らしに生涯学習の時間を取り入れてみてはいかがでしょうか。

■講座名：[「もっと楽しめるスポーツ報道」スポーツ取材の舞台裏](#)

数々の競技を取材する記者たちの情報入手法や特ダネ記事の舞台裏を、元中国新聞運動部長、映像部長の講師が紹介します。



◆講師：広島経済大学 経営学部 スポーツ経営学科 教授 小笠 喜徳(おがさ よしのり)

◆専門：スポーツジャーナリズム

◆研究テーマ：スポーツジャーナリズム、報道史、スポーツと平和、オリンピック

◆2022年3月までスポーツ雑誌及び新聞社において一貫してスポーツ報道に携わった。日本文化出版(東京)時代は月刊バレーボール編集者としてソウルオリンピック等を取材。広島本社の中国新聞では運動部記者として日本が初出場したサッカーのW杯フランス大会やシドニーオリンピックを取材。プロスポーツでもプロ野球広島東洋カープやサッカーJ1サンフレッチェ広島を担当。運動部長、映像部長として地域スポーツとジャーナリズムの関係やデジタル時代における報道のあり方などを研究、実践してきた。

◆日程・テーマ・講義内容

[・第1回 10月31日\(月\)「カープ取材の舞台裏」](#)

各マスコミがしのぎを削るプロ野球カープの取材。新聞社やテレビ局はどんな取材を重ねて、皆さんに赤ヘル情報を届けているのか。その裏舞台を紹介します。

[・第2回 11月7日\(月\)「広島スポーツ情報の楽しみ方」](#)

多くのトップ競技が集積する広島。報道を通して各競技の知られざる魅力と楽しみ方を解説します。

◆時間：18:00～19:30

◆会場：広島経済大学 興動館(〒731-0138 広島市安佐南区祇園5丁目1-27)

※自家用車での来場可能(興動館 駐車場をご利用ください)

◆受講料：無料

◆定員:30名(先着順、定員になり次第締め切ります)※最少開講人数5名

◆申込締切日:10月24日(月)午後17時

お申込みはこちらから→<https://forms.office.com/r/y6QShWc2U4>

講座を受けるためには、受講証が必要です。教育ネットワーク中国に登録の手続きをしてください。

詳しくは <http://www.enica.jp/hiroshima/index.html> を参照してください。



(公開講座案内チラシ)

◎事務局から◎

2022年度キャリアアップ・プログラムの受講申し込み受付中です！

3学期講座の申込締切は、**12月22日(木)**です。

みなさまのお申込みをお待ちしております。

お申込みはこちらから→<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/careerup/index.html>

2021年度、2022年度1学期講座終了後のアンケートに寄せられた受講生の声の一部をお知らせします。

2022年度の受講をご検討の皆さまは、ぜひこちらをご覧ください、受講の参考にさせていただけたらと思います。

<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/voice2015.html>

※詳細については、以下URLをご確認ください。

《キャリアアップ・プログラム》受講申込受付中！

<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/careerup/index.html>

※ご意見・ご感想はこちらまで career-up@hue.ac.jp

※配信解除はこちらから行ってください。

<https://y.bmd.jp/bm/p/f/tf.php?id=0828719345&task=cancel>

※広島経済大学 オフィシャルサイト <http://www.hue.ac.jp/>

発信元:広島経済大学 教育・学習支援センター キャリアアップ・プログラム事務局 (082-871-9345)